

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	開所時よりコロナの影響で運営推進会議が未だに開催できていない状況にある。そのため、ご家族様にも運営推進会議の目的や意義をなかなか伝えられないまま、議事資料のみの配布となっている現状がある。	説明と準備期間を設け、運営推進会議をZOOMのオンライン形式で開催できるようにしていきたい。	・運営推進会議をZOOM開催することを、ご家族様に案内文を出す。	3ヶ月
2	21	ご入居者様同士の関係性を把握する中で、室内空間での交流だけではなかなか刺激も少ない状況にある。午後の室内散歩などは、ユニット間の隔たりをなくして交流が得られているが、職員が主導する形が多いのが課題である。	施設横にある庭スペースを整備し、小さい畑やテラスなどを作り、そこで入居者様同士が交流できる場も作りたい。	・畑を作るスペースを決めて、その他は防草シートなどで草が必要以上生えないようにする。 ・直植えできるネギなどを植えて、手入れの手間が少なく継続できるような栽培規模で畑を始める	6ヶ月
3	35	施設において年に2回は必ず防災訓練を行っているが、専門家の方の立ち会いのもとでの実施は行っていない。	消防署や地元消防団立ち会いなど、専門的な立場から訓練を評価してもらえるような体制を作る。	・防災訓練に協力していただけるよう、消防署に連絡をして、定期訓練時の立ち会いや協力体制を構築する。	3ヶ月
4	35	地域の方に協力をお願いしての防災訓練を行ってはならず、自施設の中での避難訓練を行うのみとなっている。	地域(自治会)の協力や連携をとりながらの防災訓練を実施する。	・運営推進会議にて、防災訓練での協力を自治会や家族に呼びかける。	3ヶ月
5	35	災害時の備蓄品の場所や数、実際の使用方法などについて、職員が把握できていないところが多い。	職員がいざという時に業務継続できるよう、誰でも対応できる形での災害対策体制を整える。	・備蓄品リストを作成し、分かる場所に掲示。 ・足りないものを補充し、定期的に内容の点検を行う。	3ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。